

平成 2 6 年 度

事 業 報 告 書

# 平成26年度 事業報告書

## 1. 大型民間輸送機関連技術開発事業

平成25年度に引き続き、平成26年度も次世代の大型民間輸送機の軽量化、低コスト化及び省エネルギー化を実現する候補技術について米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成26年度は技術開発実施計画に基づき、試験用供試体及び関連する治工具等を設計、製作するとともにその進展に合わせて各種試験等を実施しました。助成事業の統合により、10月以降に着手した作業は、大型民間輸送機（777X）開発事業の試験用試作物製作として実施しました。

## 2. 大型民間輸送機（777X）開発準備事業

大型民間輸送機（777X）の開発事業参画に関する諸条件等について米国ボーイング社と協議を行い、共同開発に係わる覚書を締結しました。

## 3. 大型民間輸送機（777X）開発事業

大型民間輸送機（777X）の共同開発事業の基本的諸条件を整え、10月より政府の助成を受けて開発事業に着手しました。平成26年度は基本設計及び各種の試験に関する作業を実施しました。

## 4. 中小型民間輸送機関連技術開発事業

### (1) 発電システム

平成25年度に引き続き、平成26年度も中小型民間輸送機の電動化に対応する発電システムについて米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成26年度は技術開発実施計画に基づき、基本性能及び技術実証試験用供試体及び関連する治工具等を設計、製作するとともにその進展に合わせて要素試験を実施しました。

## (2) 電源安定化システム

平成26年度から新たに開始した事業であり、中小型民間輸送機の電動化による電力変動を効率的に解決するシステムについて米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成26年度は技術開発実施計画に基づき試験用供試体及び関連する治工具等を設計、製作するとともにその進展に合わせて要素試験を実施しました。

## (3) 高揚力システム

平成26年度から新たに開始した事業であり、中小型民間輸送機の電動化に対応した低電力・小型・高効率アクチュエーションシステムについて米国ボーイング社と共同で技術開発を実施しました。平成26年度は技術開発実施計画に基づき試験用供試体及び関連する治工具等を設計、製作しました。

# 5. 民間航空機の市場に関する調査研究事業

## (1) 市場調査

世界の航空輸送や航空機産業に関する民間航空機市場全体にわたる関連データの調査・分析と世界のエアライン調査を実施しました。それらの結果を冊子にまとめ、関連団体に配布し、ホームページに掲載しました。

## (2) 将来民間輸送機

777Xに続く将来民間輸送機の開発に向け、その構想検討及び関連調査研究の実施、並びに海外OEMとの情報交換等を実施するもので、平成26年度は、完成機及び搭載装備システムに係わる技術検討及び次世代航空機システムに関する技術動向調査に関する作業、並びに米国ボーイング社等との情報交換を実施しました。

## 協会運営に係わる事項

### 1. 理事会

理事会を3回（平成26年6月11日、平成26年6月27日及び平成27年3月6日）開催し、協会業務の重要事項の決議及び報告を行いました。

### 2. 評議員会

評議員会を2回（平成26年6月27日及び平成27年3月18日）開催し、協会業務の重要事項の決議及び報告を行いました。

### 3. 登記

平成26年6月27日を就任日として、任期満了に伴い改選された理事、監事及び会計監査人の登記を行いました。

### 4. 公益目的支出計画実施報告書等

公益目的支出計画実施報告書等を平成26年6月30日に内閣府に提出しました。また、内閣府公益認定当委員会事務局の指導、調整による補正を平成27年1月16日に提出しました。

### 5. 組織改編

平成26年4月1日付で「超高速機グループ」を廃止、「将来機グループ」「777Xグループ」を新設、2企画室3グループを2企画室4グループ体制に改編しました。

### 6. 職員の状況

期首及び期末の実在人員は次の通りです。（注）役員は含まない。

所 属	平成26年4月1日現在	所 属	平成27年3月31日現在
管理室	—	管理室	—
・総務部	7	・総務部	6
・経理部	3	・経理部	3
小計	10	小計	9
第一企画室	9	第一企画室	6
第二企画室	6	第二企画室	7
合 計	25	合 計	22

## 附属明細書

平成26年度事業報告書には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。